令和８年１１月版

～みんなで つなぐ しなの の川～

信濃川水系（千曲川）緊急治水対策プロジェクト

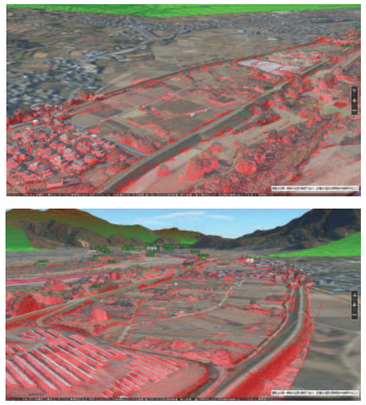
「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進

平和橋（へいわばし）遊水地整備

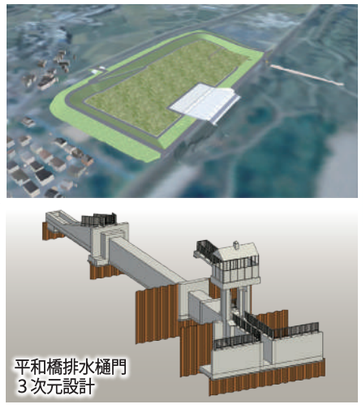


デジタル・トランスフォーメーション（DX）の取組み

- 国土交通省では、インフラ分野における３次元データとデジタル技術を活用し、社会資本や公共サービスを変革する取組みを推進しています。
- 平和橋遊水地の整備にあたっても、計画、調査、設計段階から３次元モデルを導入し、その後の施工、維持管理も含めた一連の建設生産・管理システムの効率化、高度化に取り組んでいきます。



ドローンによるレーザー測量で現況地形を高精度に３次元化



３次元測量データを活用した精度の高い設計



ICT 建機による高精度・高効率な施工

地域との合意形成に向けた取組

- 平和橋遊水地の整備にあたっては、令和２年２月に八幡地区の皆様に遊水地整備計画の説明会を開催、翌年３月に代団地の皆様に、１１月に地権者の皆様方を対象とした説明会を開催しました。
- その後も、地元や地権者の皆様方のご理解とご協力の下、千曲市と連携しながら遊水地の事業計画の検討や各種調査・設計を行い、進めてまいりました。



令和２年２月　八幡地区区長説明



令和３年１１月　八幡地区説明会



令和４年８月　代地区説明会



令和４年９月　地権者説明会



令和６年６月　現地立ち会い



令和８年５月　代地区説明会

引き続き、地元住民をはじめ、関係する皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

国土交通省 北陸地方整備局
千曲川河川事務所
〒380-0903　長野市鶴賀字峰村 74
026-227-7611（代表）
受付時間：9:00 ～ 17:00（土日祝日を除く）
https://www.hrr.milt.go.jp/chikuma/

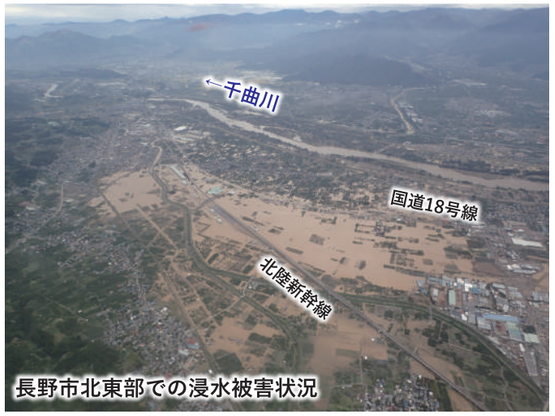
事務所HP

信濃川水系
緊急治水対策
プロジェクトHP

国土交通省 北陸地方整備局
千曲川河川事務所

令和元年東日本台風豪雨水害への対応

- 令和元年10月の令和元年東日本台風の襲来により、信濃川水系の上流域を中心に記録的な豪雨となりました。
- 長野市穂保地先で千曲川の堤防が決壊したほか、千曲川上流域から信濃川中流域の広域にわたり、堤防の越水や内水による家屋の浸水など、甚大な被害が発生しました。
- これを受け、令和2年1月に、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を策定し、国、県、市町村が連携して、流域一体となった防災・減災対策を推進しています。

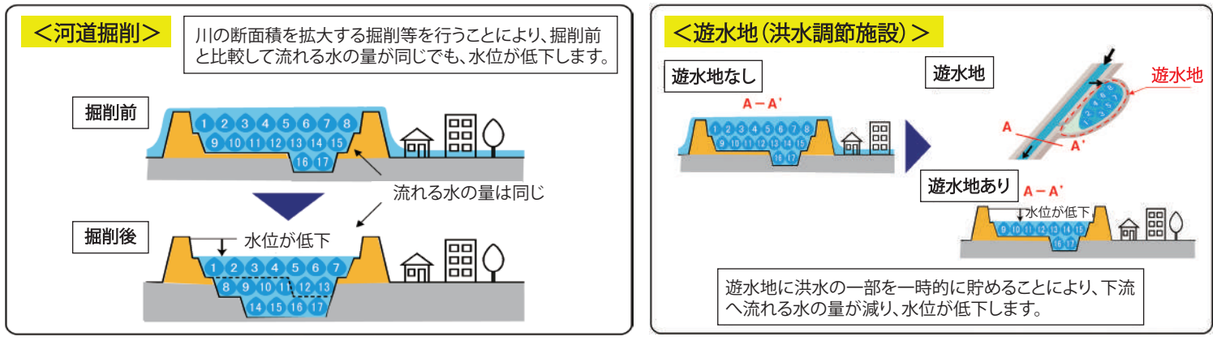


長野市北東部での浸水被害状況

緊急治水対策プロジェクト　ー越水による浸水被害防止・軽減対策ー

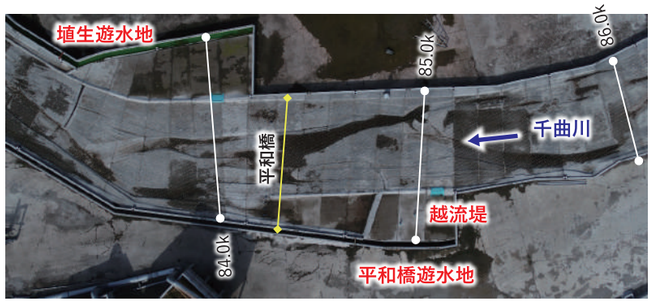
- 洪水時の河川水位を低下させる取組として、大町ダム等再編事業、河道掘削、遊水地等の整備を行います。

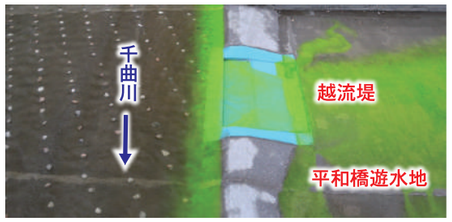
水位を低下させる主な対策



平和橋遊水地の設計、水理模型実験の実施

- 平和橋遊水地の各種諸元等については、机上での数値計算を行うとともに、実物の1/80の模型を用いて、遊水地への洪水の流入状況などについて実験を行い、確認を行いながら設定しています。

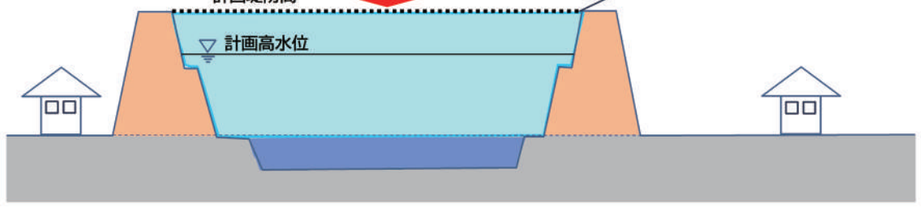




項　目	内　容
模型縮尺	1/80
模型規模	水路延長83m 模型面積615㎡
製作施設	本川河道、遊水地、付帯施設

緊急治水対策プロジェクトによる効果

- 遊水地整備、河道掘削等を実施することにより令和元年10月洪水に対して、水位を計画堤防高以下に低下させる効果が得られ、緊急治水対策プロジェクトの目標である「令和元年東日本台風洪水における千曲川本川からの越水等による家屋部の浸水を防止」を達成することが可能となります。
- 引き続きプロジェクト完了後も「信濃川水系河川整備計画」に基づき、さらなる水位低減のため、河道掘削等を実施してまいります。

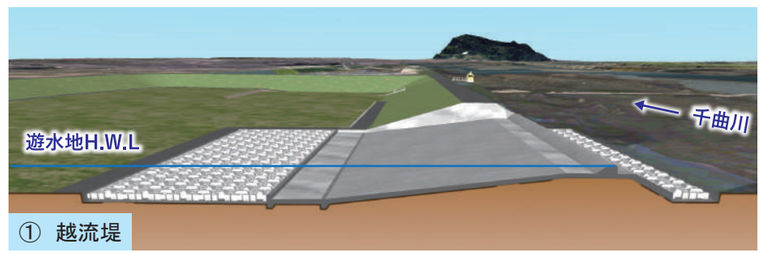


平和橋遊水地の整備内容

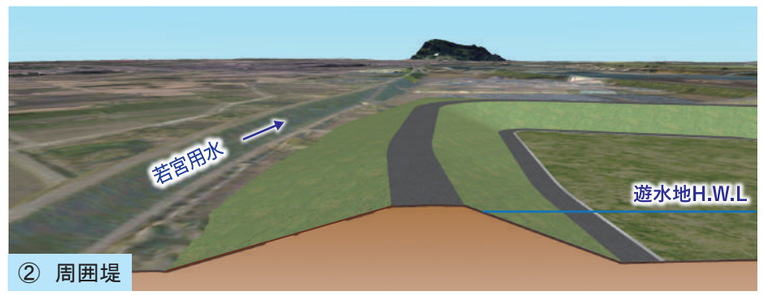
- 平和橋遊水地は、洪水を一時的に貯留するための器として、囲繞堤（いぎょうてい）及び周囲堤（しゅういてい）を整備します。また、洪水を取り込むための越流堤（えつりゅうてい）、遊水地に貯留した洪水を千曲川へ排水するための排水樋門（はいすいひもん）の整備を行います。



事業面積	約 10 ha
貯水容量	約 23 万 m³



① 越流堤



② 周囲堤